

藤沢

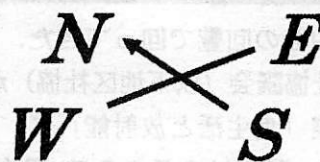
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年3月1日

第214号



- 主 文 科 省「放射線副読本」を使わないで
な 地 域 福 祉 協 議 会 の 講 座 に 疑 問 ?
記 脱 原 発 の 意 見 書 を 市 議 会 に 請 願
事 武 田 薬 品 安 全 協 議 会 設 置 請 願 ・ 放 射 能 測 定

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

3.11東日本大震災・原発事故から1年

昨年の大震災・原発事故から1年が経ちました。人的被害は死者・行方不明者約2万人、全壊・半壊数約36万棟、農地被害が2万3600ヘクタール以上、漁船被害が2万2千隻以上、漁港被害が3百以上となり、被害総額は16兆円から25兆円？とされています。復興はやっと始まったばかりです。マグニチュード9.0の大地震・大津波の自然の脅威は恐ろしいものでしたが、それ以上に今も日本全域を震えさせているのは、安全神話で塗り固められていた福島第1原子力発電所の世界最悪レベル7の重大事故ではないでしょうか。私達はこの未曾有の経験から、何を学び、何を教訓として未来に向かい、子どもたちに伝えていったらよいのでしょうか。

助け合い、絆の大切さの他に、私は3つの視点を上げたいと思います。第1に長期的視点です。地震学者は全く今回の地震を予知できなかったと言います。それは、過去300年位の観測から地震の繰り返し間隔と規模を求めていたからだと言います。地震は地球の内部構造が原因ですから、地球の歴史で考えれば、300年などは問題にならず、約1000年前には貞観地震という大地震が三陸沖に発生していた事を考慮しておくべきでした。地震に限らず、何事も目の前の事で判断せず、長期的視点の大切さを学びました。

第2は、科学的視点です。今、がれきの処理が暗礁にのり上げています。なぜ全国の人、皆で痛みを分かち会えないのかと言う人がいます。しかし、放射線防護学の専門家・安斉郁郎氏は「高レベル汚染地域を堅牢な防護壁で囲み、その内部にがれきや放射性廃棄物を集約し、国が一括集中管理する事こそが好ましい」と言っています。それは放射線レベルは10分の1になるのが100年かかるというシロモノであり、国全体の安全確保の観点から放射線防護学の知見をふまえて、このような原則的大方針を打ち立てるべきと政策提言しています。科学的視点を大切にすることで、未来を幸せすることができると思います。

第3は全体的視点です。原発の安全神話は政府、官僚、業界、学者、マスコミなど原子カムラと呼ばれる利権がらみの人達が振りまいてきました。しかし、それに惑わされず、危険性を言い続けてきた学者や市民らが数多くいたのです。少数意見に耳を傾け、皆が全体的視点から物事を判断していたら、これほど被害を拡大することはなかったのではないかと思います。

全体的視点から深く考えると、原発・エネルギー政策の見直しは必然的ではないでしょうか。
(青柳節子)



ヒキガエル3月啓蟄の頃集団で産卵行動します

地区社会福祉協議会の講座に疑問

先日、町内会の回覧で回ってきた、以下内容の明治地区社会福祉協議会（以下地区社協）が共催する 明治地区福祉講座「食生活と放射能」に、大きな疑問を感じるものです。講座は2月25日 明治市民センターで開かれ、講師は日本原子力研究開発機構 小林泰彦氏、地区社協、明治地区福祉推進会議共催です。疑問を投げかけてみました。

疑問1 この講師は、「正確な知識を味方につけて、無用な不安や、過剰な心配という『害』を減らそう！」などと発言し、放射能の危険を極めて甘く見る立場です。原子力業界側の立場の講師だけを呼ぶ事が、地区社協としてふさわしいのか？ 明治地区社協として、放射能汚染について講演をしたいのなら、反対の立場の講師も呼ぶべきではないのか？

疑問2 日本原子力研究開発機構自身、原子力産業によって、国民から収益を得ていた。原子力産業は、結果的に大事故を起こした。つまり、日本原子力研究開発機構とは、東京電力や国と同様に責任があり、まず国民に謝罪すべき立場ではないのですか？ 立場をわきまえず、国民に心配するなと講演しに来るなどという事は、地区社協として疑問は感じなかったのか？

疑問3 そもそもなぜ、「社会福祉」協議会なのに、放射能の安全、を講演し、放射能の危険、は講演しないのか？

すると早くも21日昼過ぎ、回答がきました。
＝〇〇様

明治市民センター地域経営担当です。区福祉講座「食生活と放射能」について、ご質問 をいただきましたので回答いたします。今回の講座は「放射能」に対する正しい知識を身につけることを目的として、専門的知識を持つ方に講師をお願いしたものです。正しい知識を身につけることにより、風評被害等に惑わされることなく、健康増進すなわち社会福祉に寄与するものと考えておりますのでご理解のほど、よろしくお願いいたします。

そこで、電話をかけ、本当に地区社協に見せたのか、と聞くと、ちょうど会長と副会長が来ていたので、

回答案を見せた、とは言っていました。とにかく、社協に一斉的な講座を行わせるな、という事も、新市長に要望したいものです。

（内藤繁）



文科省編集の「放射能副読本」を使わないで

藤沢市教育委員会に「放射能副読本」について要望した新婦人藤沢支部のSさんからの要望文をいただきましたので掲載します。要望は市との懇談の際に渡されました。

「放射能副読本」をインターネットで拝見いたしました。大人の、子どもたちに対する責任の無さに甚だ失望すると共に時間が経つにつれ1人の大人としてやれることをしなくては…という気持ちでいっぱいです。

確かに副読本にはうそは書いていないと思います。しかし、まだ疑うことを知らない小学生に放射能の有害性と危険性という両刃の刃のように片面だけを教えて終わりで良いのでしょうか？

また、スポーツドリンクには砂糖だけが入っていて、虫歯や骨を溶かす危険性もある…などという程度のことまで指導する小学校教育で、命や障害の危険性すら伴う放射能の危険性を教える記述が副読本にははつきり書かれていないのはなぜでしょうか？ 因果関係の明らかなさ、確率という意味ではほとんど変わらない筈です。

中学校の副読本についても同様。しかし問題は教師に対する指導のポイントです。読んで愕然としました。真実を知りたがり、大人や教師に反抗しつつも信頼や共感を寄せて行くであろう時期の子どもにこんな詭弁を使ってみたところで大人の言い訳にしか聞こえないはず。子ども達は程度の差こそあれ、全員がその危険性を薄々感じているはず。現場の先生方も絶対にしたくない筈です。

放射能について今、子ども達に伝えることは必要であると思います。しかしそれは放射能の特性と有用性、危険性、この度の福島事故を含む歴史や未来の選択まですべてを教えて生きてくるものだ確信します。

以上のことを踏まえ、この度国が作成した副読本は、そのまま子ども達に手渡すには1人の大人としてどうしても許し難い思いです。どうか藤沢市においては、このまま副読本を使用したり、また各学校に指導するのを思い止まって頂けますよう心から陳情いたします。

子ども達に教育を施すということは、子どもの教育に責任を負う機関である教育委員会が国の詭弁に流されることなく、責任ある大人として子どもに恥ずかしくない判断をして頂けますよう心からお願い申し上げます。

「脱原発」市議会に請願

新たな市長を迎えて藤沢市議会が始まります。

3月議会に、昨年8月から始めた署名850余筆を添えて請願しました。

藤沢市議会議員 渡辺光雄様

原発からの撤退を求める署名

【請願趣旨】

3月11日に東日本を襲った大地震・大津波の結果、東京電力福島第一原子力発電所に生じている事態は、人類と原発は共存しえず、特に世界でも有数の地震国・津波国である日本は、できるだけ早期に原発から撤退すべきことを、強く指し示しています。

原発技術は未完成であり、廃棄物さえ安全に処理できないに関わらず、歴代政府は、原子力発電を推進し、莫大な資金を投入してきました。

「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告があったに関わらず、安全対策を置き去りにした結果、世界最悪・レベル7の原発事故に到りました。

7月13日、菅直人首相は、この深刻な事態に鑑み、「原発に頼らないエネルギー政策を決意するに到った」と記者発表しました。福島県、山形県、滋賀県知事、大阪市、南相馬市、白河市長等も、原発からの撤退を表明し、安全・安心なエネルギー政策を求めています。

ドイツ、スイス、イタリア等、世界の国々も脱原発を表明しています。

今こそ、原発からの撤退を決意する時です。市議会が、国に原発からの撤退を決断する意見書を提出してください。

【請願項目】

1. 貴市議会が、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発に依存しない再生可能なエネルギー政策を、早急に構築する事を求める意見書を政府に提出する事を求めます。

2012年2月28日

藤沢エコネット

藤沢市議会議員 渡辺 光雄 様

武田薬品工業との間に、関係市民・専門家も参加した安全協議会の設置を求める請願書

請願者 武田問題対策連絡会 代表小林麻須男

＜請願項目＞

藤沢市に対し、武田薬品工業との間に、次のメンバーも加え、傍聴もできる安全協議会を設置するよう、市議会として市当局に求めて頂くこと。

*安全協議会委員にバイオ・医薬関係の専門家も加えること

* 市民側委員に、近隣住民と合わせて広範な市民からも公募すること

* 市民の傍聴を広く保証すること

＜請願理由＞

- ①、現在、藤沢市は、武田薬品工業との間に環境保全に関する協定書を結び、覚書第3条で「地域住民との相互理解を推進するために、近隣7町内会の会長だけが参加した連絡会議を設置する。」との協定を結び、隣接町内会以外の関係市民は、連絡会議から排除されています。しかし、武田薬品研究所の排出物から被害を受けるのは、隣接住民ばかりでなく広域にわたる市民であり、こうした関係市民が、連絡会議から排除され、しかも傍聴も認めない等という事は許されません。限られた町内会長だけでなく、はば広い関係市民の参加した安全協議会が設置されるべきです。
- ②、藤沢市は、行政が、市民に代わって武田薬品と安全性について協議するからそれで十分だとの立場に立っていますが、市の職員も近隣町内会役員も専門家ではありません。武田薬品のようなバイオ、遺伝子組み換え、動物実験研究所の安全問題については、高度の専門知識を有する学識経験者を市の行政側委員として参加させた安全協議会を設置すべきです。
- ③、武田薬品は、当初、大阪十三、筑波の研究所を統合して効率の良い自社研究所を作ると住民説明を行いました。最近に至って、更に湘南研究所を、バイオ研究所として外部のベンチャー企業や国内外の研究員、研究機関が入ったレンタル研究所に変えようとしています。こうした研究所のレンタル化は安全管理の責任が曖昧となり、厳しく安全問題をチェックする安全協議会の設置が不可欠です。
- ④、しかも、武田薬品は、外国では厳しく制限されている動物実験施設を大々的に宣伝し、内外の研究者を集めようとしています。こうした武田薬品以外の研究者も入った大規模な動物実験施設の安全性については、関係市民、動物実験の専門家も加わった安全協議会の設置が是非とも必要だと考えます。
- ⑤、また、11月30日には、武田研究所の本格稼働が1ヶ月も経たないうちに、遺伝子組換え廃水が漏洩するという大事故が発生しました。ヒューマンエラーはいえ、武田薬品の安全管理システムの欠陥によるものです。再発防止のため、早急に、関係市民、専門家の参加した安全協議会が設置されるべきです。（裏面賛同署名）

放射能 市民の自主測定値

藤沢市役所本館東側で基準値を超えた線量が検出され、新聞報道もされました。

測定日 1月22日 本館東 駐車場雨樋下(下図)

本館屋上から直径15cmほどのパイプの 地上に接する部分が破損していて、雨が地上に大量に流れたせいではないかと推測されます。

1.53 $\mu\text{Sv/h}$ (γ 線:Aloka TCS-172B)

・本館北側雨樋下 0.31~0.34 $\mu\text{Sv/h}$

いずれも除染が行われました。



市民自主測定の結果(市の貸し出し線量計使用)

・藤沢名店ビル地下道入口付近の植え込み(1/6)

0.2 $\mu\text{Sv/h}$

・天神町天神社社務所東側雨樋下(1/6)

0.399 $\mu\text{Sv/h}$ この場所は基準値を超えているので藤沢市に連絡し除染していただきました。

除染後 0.123 $\mu\text{Sv/h}$ となりました(1/18)

・六会駅前公園 0.074 $\mu\text{Sv/h}$ (1/6)

・亀井野 三屋道公園入口 0.090 $\mu\text{Sv/h}$ (1/6)

・藤沢駅南口オーケストア地下入口雨樋下(2/24)

0.104 $\mu\text{Sv/h}$

ECONET INFORMATION

原発卒業だよ！全員集合 湘南ピースウォーク

～未来へ歩こう311～ 笑顔も勇気も持ち寄って！

3月11日(日)

14:15 遊行寺集合 14:46 黙祷 15:00 出発→奥田公園

17:30～交流会藤沢名店ビルイベントホール 参加費 500円

主催 イマジン湘南 0466-82-1702

「原発に頼らない社会を実現させるには
～ポスト3.11を生きるために～」

講師 田中 優さん(市民活動家・環境運動家)

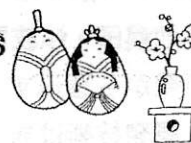
とき 3月9日(金) 18:30-20:30

ところ 鎌倉生涯学習センター ホール

入場券 500円 島森書店鎌倉店他で扱い

主催/申込み 鎌倉・9条の会

Fax 0467-24-6577 ☎0467-24-6596



藤沢市消費者大会

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映

3月20日(土) 10:30- 14:00- 2回

藤沢労働会館 前売り券 800円 有隣堂他で

主催 藤消連 相談情報センター 87-3936

藤沢エコネットから

予告 脱原発・自然エネルギーの学習会

5月27日(日) 午後 講師 本島勲さん

・原発からの撤退を求める署名をありがとうございました。
2/28に請願の届けをしましたので3月12日の市議会総務常任委員会にかかります。

傍聴をお願いします

振入方法が変わりました

ゆうちょ銀行(9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 万サコネット

(従来の振入方法も利用できます)

*会費・購読料の未納の方は納入にご協力下さい

会員募集=年会費・購読料→3000円

《編集後記》我が家の庭先にも例年より3週間遅れで梅の花が開花した。昨年の311の日には小さな実がついていた。さて資源の収集が4月から全域戸別収集となり、出す品目に悩まされそう。広報でのカレンダーには、土日を除き毎日何かを出すようになっていて、容器も必要ようだが、自治会での説明もされていないので不安だ。鈴木新市長が誕生し、有料指定袋の値下げも実行して欲しいものである。(H)